

※本プレスリリースは、現地時間 2017 年 9 月 11 日にドイツ・ハノーバー市で発表した内容の参考訳です。  
万が一、英文原文と意味合いが異なる部分がある場合には英文が優先されます。

2017 年 10 月 2 日  
コンチネンタルタイヤ・ジャパン株式会社

## コンチネンタル高性能チューニングカー用タイヤ 25 年のあゆみ



コンチネンタルタイヤ チューニング部門 25 周年

- トップチューナーと共に歩んできたコンチネンタルのチューニング部門が 25 周年
- 特別仕様のタイヤは、スーパーカー一台一台に合わせてカスタマイズ
- エッセンモーターショーの展示ブースでは例年、パートナー企業の最新チューニングカーを展示

大手タイヤメーカーであるドイツのコンチネンタルタイヤは、2017 年 9 月に同社のチューニング部門が 25 周年を迎えたことを発表しました。当初からのお客様は、自動車の改造、パフォーマンス向上およびハンドリングの最適化の分野で、今も業界で重要な役割を担っており、その中には ABT、AC Schnitzer、Lorinser、Heico、TechArt がいました。最近では、Brabus、Startech、Arden、Edo Competition といったチューナーとも協働しています。コンチネンタルのチューニング部門は、設立後すぐに高い評価を獲得しました。当初はアーヘンに拠点を構えるコンチネンタル子会社のユニロイヤルに本部があり、「IT'S」(Individual Tuning System)の名で親しまれていました。

初のスポーツタイヤである Uniroyal RTT1 は、方向性のある「V」字形のトレッドパターンが特徴です。伝説的なパフォーマンスを魅せたこのタイヤは 1992 年に発売が開始されて以来、チューニングメーカーと協働で最適化が進められ、スポーツカーに求められる超高速走行かつ高いハンドリング性能といった要望を実現してきました。これには、スポーツカー向けレインタイヤを異次元レベルのスピードに適應させ、エンジンのフルパワーを路面に伝えることが可能なタイヤを提供することも含まれていました。

1995年以降、コンチネンタルのチューニング部門ではコンチネンタルのタイヤがより多く採用されるようになりました。この筆頭に挙がるのが SportContact シリーズで、多様なサイズや仕様をそろえパートナー企業のニーズにお応えしています。例えば、AC Schnitzer および TechArt は、sport auto 誌の編集部と共同で、サーキット走行用で一般道路の走行も可能な ContiForceContact を開発しています。事実、タイヤ開発者はチューニング部門のできた初期の頃から、高い専門技術を提供し続け、同部門にとって必要不可欠な存在でした。このように理想的なタイヤを追い求めた結果、最高時速の記録は何度も塗り替えられています。2007年には、ContiSportContact2 を装着した Lorinser SLR 320 が、イタリアのナルドテストコースで時速 325km の記録を樹立しました。史上最速のフルサイズ SUV とされる Techart Magnum は、特別に開発された ContiCrossContact UHP を装着し、時速 321km を達成しています。9ff がチューニングを手がけたボルシェの TR 1000 および GT9-R も、コンチネンタルのスポーツタイヤを履いており、それぞれ時速 376km と 409km という最高記録を達成しています。その一方、弊社チューニング部門はサスティナビリティにも力を入れています。転がり抵抗を低減させた ContiSportContact BlueEco を装着し、パートナー企業の AC Schnitzer がチューニングを手掛けた Z4 は CO2 排出量 99g/km と報告されています。

高性能タイヤの開発のほか、チューニング部門の重要な役目として、自動車専門誌とのコラボレーションも実施しています。Contidrom (コンチネンタルのテストコース) で開催された恒例の「第 36 回コンチネンタル・チューニング・デー」では、Auto Bild sportscars 誌と共同で、同誌読者チューニングマニアの方々にスーパーカーを体験してもらう、というイベントを開催しました。また、ナルドで不定期に開催される「コンチネンタル・ハイスピード・イベント」は、最速記録が塗り替えられるイベントとして有名です。ここでは、トップチューナーたちが様々なカテゴリーで最速記録の樹立や更新を目指してしのぎを削ります。パフォーマンスはドイツ技術検査協会 (TÜV) 立ち会いの下で行われ、Auto Bild sportscars 誌にも取り上げられています。

コンチネンタルのチューニング部門にとってエッセンモーターショーへの出展は必須です。チューニングメーカー6社と共有する 1,000 m<sup>2</sup> の展示ブースがこの活動の中心です。このモーターショーは、自動車チューニングメーカーにとって欧州最大の展示会であり、コンチネンタルは 2017 年には 20 回目のエントリーを果たしています。タイヤのスペシャリストとして、ハノーバーから、高い専門知識とお客様中心の姿勢を示し続けているのです。